

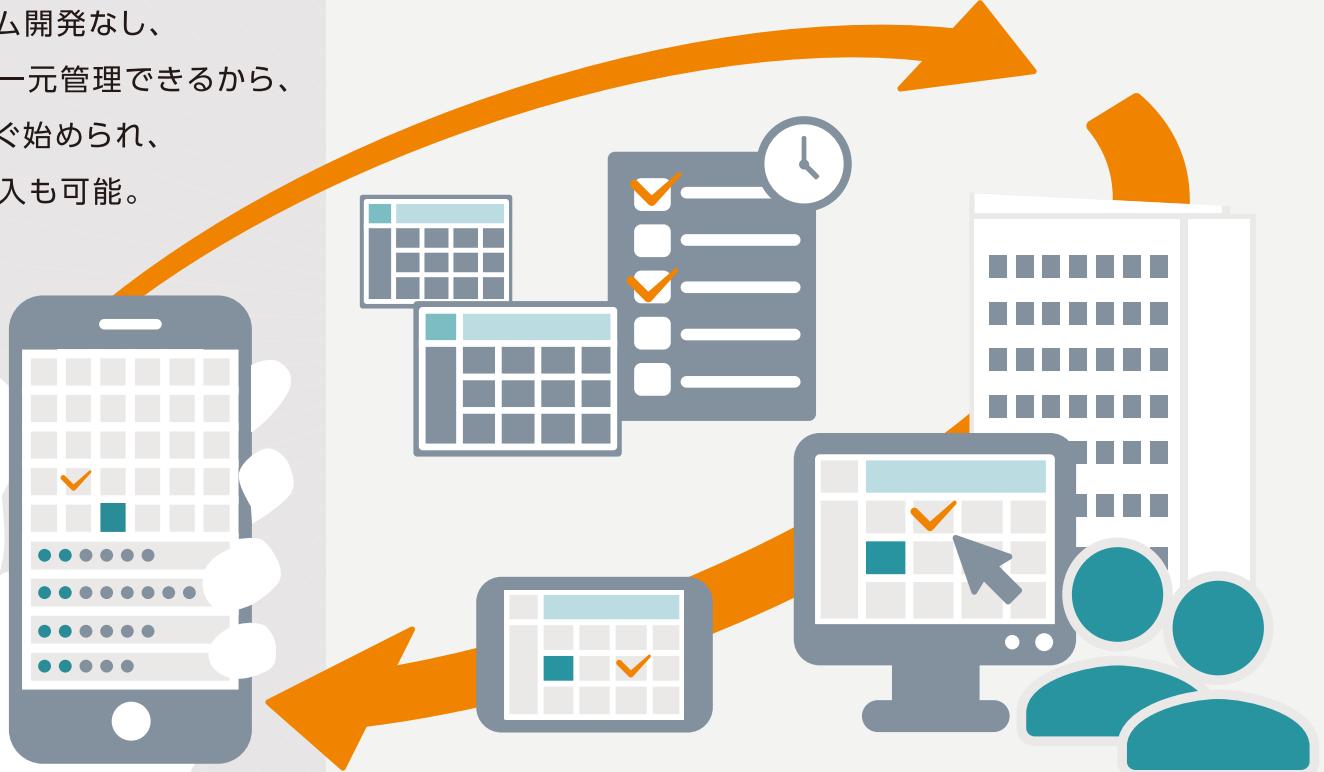


企業向け・スケジュール連携ソフトウェア

PiMSYNC®

グループウェアやSFAのスケジュールを双方向に同期  
社内業務の効率化やモバイル活用を強力にサポート!!

プログラム開発なし、  
サーバで一元管理できるから、  
簡単にすぐ始められ、  
大規模導入も可能。





PiMSYNC

情報システム部門の悩みを解決!

# 実は大変! スケジュール連携

スケジュールの同期の仕組みは、簡単に開発できるように思えますが、実際には大変です。

双方の機能の違いを把握、繰り返しスケジュールなどの同期機能や双方向の同期など、開発が難航することもあります。

PiMSYNCなら、このような開発の課題も解決できます。

PiMSYNC<sup>®</sup> 同期対象製品

salesforce

G Garoon

サイボウズ  
Office10Microsoft<sup>®</sup>  
Exchange ServerMicrosoft<sup>®</sup> Office 365  
Exchange OnlineMicrosoft  
Dynamics<sup>®</sup> CRMMicrosoft  
Dynamics<sup>®</sup> 365IBM Notes/  
Domino

G suite™

セールスマネージャー  
Remix CLOUD

## PiMSYNCで、「つくる」から「つなぐ」

PiMSYNCは、同期のために相互接続のプログラムを開発する必要がありません。相互に同期させるユーザをPiMSYNC 上に登録し、同期のための情報の関連づけと、タイミングをGUI画面で登録するだけで設定は完了です。認証情報は、同期するユーザが各自で設定可能。また、同期対象ユーザ数が多い場合には、CSVファイルから一括登録できます。

### 自社開発すると

設計

実装

検証

利用開始

### PiMSYNCなら

検証

利用開始

大幅短縮!

### ここが大変! 自社開発

#### 開発の前提となる調査が大変

- 同期元と同期先がどういう仕様なのか調べ、どのような制約があるか、どのような仕様の差があるかを調べて、連携機能の仕様を決める作業が必要。

#### 開発が始まってから問題が発覚する

- 最初から問題が分からず、開発を始めてから様々な問題が次々にわかり、工数がどんどん増えていく。
- 最初に実現したことが、開発がかなり進んでから「実現できない」と判明することもある。

PIMSYNCなら、すぐに利用可能。  
開発不要で、導入期間を大幅に短縮。



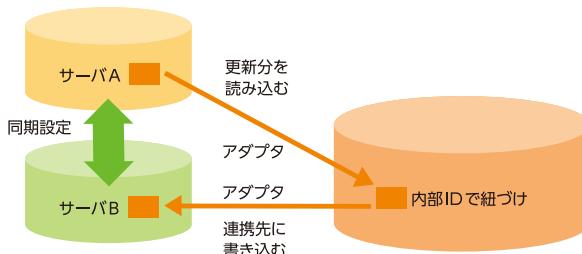
実は  
大変!

## 双方向の同期

- 同期元と同期先で、同時にスケジュールやToDoが変更・削除されたらどうするか?
- 同期元と同期先が、他のツールや手動によって既に同期されていた場合、どのようにして双方のスケジュールを同一とみなすか?

PIMSYNCで  
解決!

单方向、双方向の同期が可能です。複数の接続先サーバーから前回との差分情報を取得して、双方の情報を内部IDで突き合せを行ってから、同期先へ反映させます。



実は  
大変!

## 繰り返しスケジュールの同期

- 同期元と同期先の繰り返しスケジュールの考え方や設定方法が異なることがあるが、どう同期するか(終了時の条件など)?
- 繰り返しスケジュールのうち、1日分のスケジュールだけを更新または削除した場合に同期先にどのように反映するか?
- 繰り返しスケジュールを、毎日から毎週に変えた場合や、週1回を週2回に更新した場合、すでに紐付けが切れている、一部だけ変更したスケジュールをどうやって反映するか?

PIMSYNCで  
解決!

「毎月」「毎週」といった一度に複数日を設定する連続・繰り返しスケジュールの同期に対応しています。また、特定日だけを除外するといった、繰り返しスケジュールの部分的な変更にも対応します。

実は  
大変!

## 異なる項目の同期

- どの項目を同期対象とするのか、同期先のどの項目と同期させるのか?
- リッチテキストの項目があった場合、同期先にどう反映されるか?

PIMSYNCで  
解決!

スケジューラによって項目名称やフォーマットは異なります。例えば、ToDo情報の「重要度/優先度」「進捗度/完了率」などのような項目名称やフォーマットの違いを、利用者は認識せずに同期することができます。

### スケジュールの同期項目

- ▶ 日時
- ▶ 場所や所在
- ▶ 件名
- ▶ 内容
- ▶ 終日
- ▶ プライベート / 公開
- ▶ 定期的な予定  
(日次、週次、月次、年次などの繰り返し予定)
- ▶ 定期的予定の除外日／例外日の変更、設定

### ToDo 情報の同期項目

- ▶ 件名
- ▶ 内容
- ▶ 開始日 / 終了日 / 期限
- ▶ 重要度
- ▶ 完了率
- ▶ ステータス  
(未着手、作業中、完了、延期など)

PIMSYNCで  
解決!

## こんなことも解決できます

- どれくらい過去のスケジュールやToDoまでを同期対象とするか?
- 複数のユーザが参加しているスケジュールを同期するときに、同期先にはどのように反映するか?
- 接続先のアプリケーションの新しいバージョンや、クラウド基盤ができた場合に、どのようにして移行するか?
- 接続先のアプリケーションへの接続方式や認証方式が変わった場合にどう対応するか?



PiMSYNC

営業部門の悩みを解決!

# PiMSYNC、3つの活用例

スケジュール管理は、ビジネスの基本中の基本。

PiMSYNCは、グループウェア、営業支援ツール（SFA）など、

スケジュール管理機能を持つ複数のシステムに登録されている「スケジュール」や「ToDo」を自動的に同期。

二重入力の手間や登録内容の矛盾、ダブルブッキングなどのトラブルを解消し、

営業部門の業務の生産性向上を実現します。

## Case 1 SFA連携

A社（ユーザ数2,500名）の場合

### SFAとグループウェア。複数のスケジュールを同期して営業活動を効率化

Before

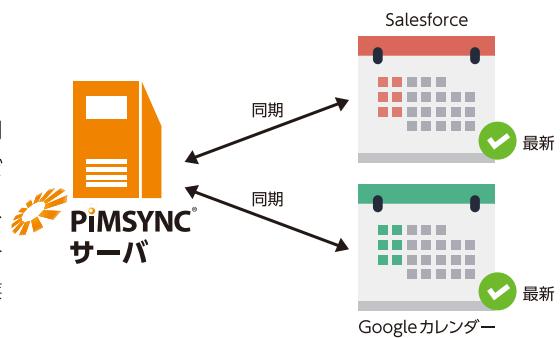
#### スケジュールの二重登録や二重確認の手間

営業活動強化のためにSFAとしてSalesforceを導入したA社では、導入後に思わぬ問題が発生して困っていた。営業活動に関するスケジュールはSFAで管理されるようになった一方、他の部署では従来から導入されているGoogleカレンダーを引き続き利用している。そのため、営業部のメンバー全員がSalesforceとGoogleカレンダーの両方にスケジュールを入力する手間、両方のスケジュールを確認する手間が発生していた。さらに、入力忘れによるダブルブッキングも発生していた。

After

#### PiMSYNC<sup>®</sup>で解決！

そこでA社ではPiMSYNCを導入し、Salesforce、Googleカレンダー間のスケジュールの双方向同期を実施。どちらかにスケジュールを入れれば同期されるため、Salesforceだけを確認、入力するだけで、他部署ともスケジュールが連携できるようになって、入力忘れによるスケジュールのトラブルも解消。SFA導入後の営業部の悩みは解消し、他部署からも営業のスケジュールがきちんと把握できるようになった。





## Case 2 モバイル活用

B社 (ユーザ数500名) の場合

### IBM Notes/Domino のカレンダーを外出先でセキュアに使う

Before

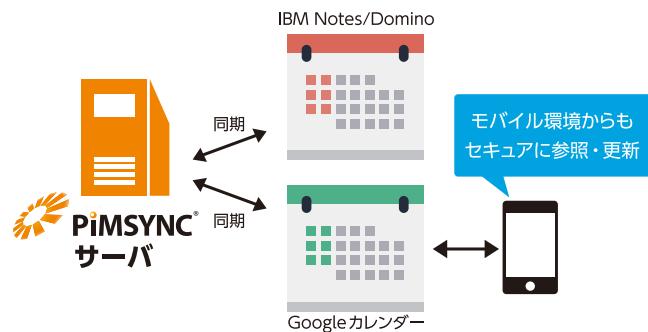
#### スマホでスケジュールを確認できない

営業活動強化のためスマートフォンの導入を検討していたが、セキュリティの確保が障壁となっていたB社。社内では確認できるIBM Notes/Dominoのスケジュール、しかし営業のスケジュールだけでなく重要な情報も蓄積されているため、社外からのアクセスを許可することができていなかった。

After

#### PiMSYNC で解決!

そこでB社ではPiMSYNCを導入し、外出先でスケジュールの確認ができるようにした。営業部員のスケジュールのみを社内のIBM Notes/DominoからGoogleカレンダーに同期。社内IBM Notes/Dominoは従来通り外部へ公開することなく、スケジュールを社外で参照できるようになった。



## Case 3 大規模移行

C社 (ユーザ数15,000名) の場合

### 使用中のグループウェアから別のグループウェアへスムーズに移行

Before

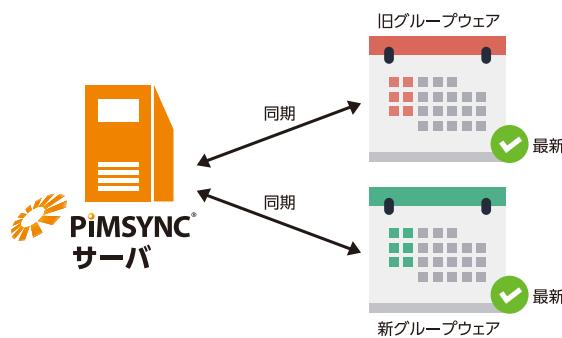
#### スケジュールの二重登録や二重確認の手間

4年前からグループウェアの移行を計画していたC社のユーザは15,000名。使用中のグループウェアに業務を依存しているために停止することができず、移行先のグループウェアとの並行運用が必須だった。しかし、使用中のグループウェアと移行先のグループウェア間でスケジュールを同期する必要があり、ユーザの手で双方に登録することは現実的ではなく、移行が難航していた。

After

#### PiMSYNC で解決!

そこでC社ではPiMSYNCを導入し、移行期間中も、使用中のグループウェアと移行先のグループウェア間でスケジュールを同期することで、スムーズな移行を可能にした。PiMSYNCは過去のスケジュールも同期できるため、新グループウェア稼働開始前のスケジュールも入れた状態で利用を開始できた。



## ■ 主な仕様

### ■ 同期対象製品

PIMSYNCは、以下の製品間との相互同期が可能です。  
同一製品間での同期も可能です。

#### [基本パッケージに含まれる同期製品]

	カレンダー連携	ToDo連携
Microsoft® Exchange Server 2010, 2013, 2016	○	○
Microsoft® Office 365 Exchange Online	○	○
Microsoft Dynamics® CRM 2016	○	—
Microsoft Dynamics® 365 for Customer Engagement (on-premises)	○	—
Microsoft Dynamics® 365 for Customer Engagement	○	—
<b>[サイボウズ製品]</b>	カレンダー連携	ToDo連携
サイボウズ ガルーン 4	○	—
Garoon on cybozu.com	○	—
サイボウズ Office 10	○	—
Office on cybozu.com	○	—
<b>[IBM製品]</b>	カレンダー連携	ToDo連携
IBM Notes / Domino 9	○	○
<b>[Google製品]</b>	カレンダー連携	ToDo連携
G Suite™	○	—
<b>[ソフトブレーン製品]</b>	カレンダー連携	ToDo連携
eセールスマネージャー Remix Cloud	○	○
<b>[セールスフォース・ドットコム製品]</b>	カレンダー連携	ToDo連携
Salesforce.com 製品 ※詳細はお問い合わせください。	○	○
<b>[ジャストシステム製品]</b>	カレンダー連携	ToDo連携
JUST.SFA ※詳細はお問い合わせください。	○	—
<b>[ジェクシード製品]</b>	カレンダー連携	ToDo連携
desknet's ※詳細はお問い合わせください。	○	○
<b>[OSK製品]</b>	カレンダー連携	ToDo連携
SMILE V / eValue V ※詳細はお問い合わせください。	○	—

### ■ 動作環境

※動作環境に関する最新情報は、PIMSYNC製品WEBページをご確認ください。

- Microsoft Windows Server 2008 Standard / Enterprise / Datacenter (x86版、x64版) (SP1/SP2を含む)
- Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard / Enterprise / Datacenter (x64版)
- Microsoft Windows Server 2012 Essentials / Standard / Datacenter (x64版)
- Microsoft Windows Server 2012 R2 Essentials / Standard / Datacenter (x64版)
- Microsoft Windows Server 2016 Essentials / Standard / Datacenter (x64版)
- Microsoft Windows Server 2019 Essentials / Standard / Datacenter (x64版)

#### [対応ブラウザ]

PIMSYNCサーバーの環境設定を行う管理画面を表示するブラウザは、以下の通りです。

- Internet Explorer 9～11
- Microsoft Edge 20以降
- Mozilla Firefox 42以降
- Google Chrome 47以降

※PIMSYNCが対応するブラウザは、各ブラウザのサポートポリシーに従います。

詳しくはPIMSYNC製品WEBページをご覧ください。

#### [データベース]

PIMSYNCを運用する際に、以下のデータベースを使用します。

- PostgreSQL 10 (Windows版)

※PostgreSQLのインストーラはPIMSYNC製品に同梱されています。

## 最新情報はWebへ

### ■ ライセンス料金(税別)

初期導入 基本パッケージ(30ユーザライセンスを含む)	300,000円
追加ライセンス(10ユーザ)	100,000円
追加ライセンス(50～2,490ユーザ)	以下の割引が適用されます
無制限ライセンス(2,500ユーザ以上)	15,000,000円

※ユーザ数に応じて、以下の割引が適用されます。追加ユーザライセンスは10ライセンス単位での販売となります。

ユーザ数	割引率
~40	割引なし
50-90	5%
100-240	10%
250-490	20%
500-990	30%
1,000～	40%
2,500以上	15,000,000円(無制限ライセンス)

### ■ 月額利用ライセンス&サポート料金

基本構成30ユーザライセンス	18,000円/月
追加ライセンス(10ユーザ)	6,000円/月
ユーザ数 無制限でご利用の場合(2,500ユーザ以上に適用)	1,500,000円/月

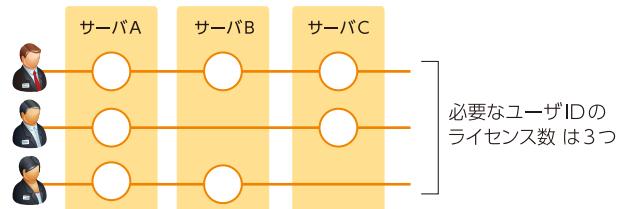
※月額料金には、保守サービス費用が含まれています。

※月額支払いを選択された場合は、ユーザ数による割引は適用されません。

※ソフトウェアでのご提供となりますので、別途OS及びハードウェアをご用意ください。

### ■ PIMSYNC ユーザIDライセンスの考え方

例:PIMSYNCでサーバABC間を同期する場合



### ■ 保守サービス

以下の保守サービスを提供しています。

月額方式の場合は、料金に含まれています。

また、一括方式の場合はライセンス料金の20%で提供します。

- PIMSYNCサポート専用Webサイトからの技術情報提供
- 製品の利用方法について助言
- 障害が発生した場合に、回避可能な場合はその方法について助言
- 不具合の修正や機能改善などの要求に応えるパッチの提供
- バージョンアップの為の最新モジュールの提供
- 最新バージョンへの移行支援に関する助言

<https://www.hulft.com/software/pimsync>

Microsoft、Microsoft Officeのロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。  
その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標、製品名です。  
このカタログに記載されている料金、製品仕様、サービスの仕様は、2019年9月4日のもので、事前の予告なしに変更する場合があります。

2019年9月版

【お問合せ先】



株式会社 セゾン情報システムズ  
HULFTフリーダイヤル **0120-80-8620**

※利用時間9:30～17:00(土・日・祝日および年末年始を除く)

URL <http://www.hulft.com/> e-mail info@hulft.com

■ お問い合わせ